

東部地区防災計画

基本方針

自分のことは自分で守れる準備を (自助)
近所とは普段からの絆づくりと声かけを (共助)



令和5年1月

東部地区自主防災会

はじめに

阪神淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出された人の8割が、家族や近所の住民等によって救出されたと言われています。大きな災害のとき、すべての現場にすぐに救助隊が到着することは困難です。住民同士での助け合いが重要です。

今回、国・県の指導もあって、災害時に自分たちのまち（地区）を自分たちで守るために、東部地区自主防災会が善通寺市で初めて地区防災計画を策定しました。

策定にあたり、次の点に配慮しました。

1. 地区の特性に応じた計画

自分たちの「まち」＝東部地区の災害リスクと被害を想定し、「準備」と「行動」を話し合った。

2. ボトムアップ型の計画

地区の特性をよく知っている住民自身で、住民個々に合せた内容を心掛けた。

3. 継続的に地区防災力を向上させる計画

計画、実行、見直しをくりかえし、年々進化・充実を図れるよう、「中長期的な活動予定」を含めた内容とした。

自分のことは自分で守れる準備を (自助)

近所とは普段からの絆づくりと声かけを (共助)

目 次

1. 地区の概要	1
(1) 地区の特徴	
① 地区の範囲	
② 地区の社会特性	
③ 地区の地形特性	
(2) 今後想定される災害	
2. 防災活動	3
(1) 活動目標	
(2) 活動体制	
(3) 平常時における防災活動	
(4) 災害時における防災活動	
(5) 中長期的な活動予定	
3. 地区防災マップ	7
4. 防災関係施設・資機材等リスト	9
(1) 避難所	
(2) 関連機関・施設の連絡先	
(3) 保有防災資機材リスト	
5. 地区防災タイムライン	13
● 東部地区自主防災組織タイムライン(豪雨災害)	
● 東部地区自主防災組織タイムライン(地震災害)	
参考資料	14
● 避難者名簿	
● 健康状態チェックカード	

1. 地区の概要

(1) 地区の特徴

①地区の範囲

東部地区は市内の中央部の北側に位置し、東は与北地区と竜川地区、南は南部地区と中央地区、西は中央地区と筆岡地区に囲まれ、北側は多度津町に接している。地区内は山や丘陵はなく概ね平坦である。但し、東側境界近くに2級河川の金倉川が流れている。

地区内は上吉田東・上吉田西・下吉田・稲木の4地域に区分され、東部小学校の南側は商業地と住宅地、北側は農地と住宅地が多い。

②地区の社会特性

● 人口：約5,500人

● 世帯数：約2,600世帯

- 高齢者人口（65歳以上）約1,900人、高齢化率は約33%と高齢化が進んでいる。
また、高齢者のみの世帯は500世帯近くあり、15年前の5倍近くに達している。
- 商店街は“シャッター通り”化と“空き地”が増え、私設の駐車場の点在が目立つ。
- 地区北側は農村部で農地が多かったが、1戸当たりの耕作面積は狭く、宅地化や菜園化が急速に進んでいる。戸建て住宅のほかマンションやアパートの新築により人口が増えている地域もある。
- 新住民の自治会への加入促進は防災上の観点からも今後の課題である。

③地区の地形特性

- 地区内は山や斜面はなく、概ね平坦である。
- 地区に隣接して2級河川の金倉川が流れている。
- 地区中央部東側に村上池、西側に満賀池がある。
- 良質の地下水(出水)が湧水する場所が散在している。(災害時の飲料水)
- 地区内に緊急車両が通行または進入し難い場所がある。
- 出水・ため池を埋め立てて、宅地化している場所がある。(液状化)

(2) 今後想定される災害

災害種別	想 定	対 策
豪雨災害 (洪水等)	「金倉川浸水想定区域」 …大雨や満濃池決壊による洪水 金倉川に近い地域で高松自動車道南側、JR金倉寺駅北側から国道11号までの間(2mを超える浸水の可能性) 「ため池浸水想定区域」 …豪雨による堤防決壊による 村上池の北側・西側、満賀池の北側	●市が発令する避難情報に注意し、「警戒レベル4＝避難指示」で“危険な場所から全員避難”の徹底を図るよう住民に周知する。 ●避難する際には、隣近所にも声をかけ、速やかな避難を心掛ける。 ●DIGや防災パトロールを実施し、危険箇所の認識を共有する。
地震災害	「南海トラフ地震」 ●東部地区では最大震度6弱を想定(今後30年以内に70～80%の確率) ●耐震性の低い家屋は瓦が落ちたり、建物が傾いたりすることがある。固定していないタンス・家具の大半が動き、倒れるものもある。 ●ため池(村上池、満賀池、稲木池、前池等)の決壊注意。 ●満濃池の決壊もありうる。 ●液状化可能性のある場所がある。	●家具転倒防止器具の設置促進 ●ブロック塀の耐震化の促進 ●危険空き家への対策を市へ要望 ●避難する場合、ブレーカー断やガス元栓閉めをすることを啓発する。 ●DIGや防災パトロールを実施し、危険箇所の認識を共有する。 ●古い地名(字、小字)にも注目
土砂災害 津波災害	大規模なものは、想定されない。	

[参考] 東部地区の過去の災害(例)

災害名称及び 災害発生年月日	災害による被害状況と当時の状況
南海地震(M8.0) 1946年12月21日 (昭和21年)	南海トラフで発生した極めて巨大な地震。2年前の昭和19年に起きた東南海地震との関連性も言われている。 善通寺近辺では震度5程度であったと言われている。 香川県内の死者52人〔内、丸亀で4人〕、善通寺での死者はいない。その他善通寺での被害記録は定かではない。構築物の倒壊が報告されているが、東部地区での状況は定かでない。
平成16年 台風23号 2004年10月20日	百十四銀行善通寺支店前の交差点付近(上吉田町)浸水。 旧国病西側付近も浸水。 累計雨量は生野町で245mm、最大時間雨量23.6mm。 市内全域に避難勧告発令、自衛隊に災害派遣要請。 避難所開設、床下浸水309世帯、床上浸水43世帯。 市道、河川、農林関係に土のう約8,000袋使用。

(3) 平常時における防災活動

項目	具体的内容	実施時期
防災訓練	●地区合同防災訓練の実施 (自治会・環境推進・福寿会・健康推進・食改・体育振興会・等の公民館活動グループ、民生委員児童委員協議会・消防・学校、市防災管理課、防災士会等を含む総合訓練)	毎年11月
	●防災資機材の稼働確認と運転訓練	毎年2月、10月
防災知識の普及・啓発	防災研修会の実施 ●外部施設の見学会 ●講師を呼びテーマ別の研修会	毎年12月
	●市・県・防災士会等が主催する防災訓練に参加する。	都度、随時
	●防災活動の必要性の周知活動 公民館まつり、市民運動会、ボランティア公園花火大会、ウォーキング会等において、啓発グッズを配布する。	都度
地区の安全点検	●防災備蓄品の棚卸し、保管期限の確認、補充 ●DIGや防災パトロールを行い、地区内危険箇所の洗い出し。地域を絞り、毎年一歩ずつ進める。	毎年2月、10月
災害時要配慮者の支援体制の整備	●民児協の協力を得て、自治会（人数の多いところは班、組）ごとに把握し、リストを更新する。 ●本人、家族の了解のもと、認識証（仮称）を掲示する。	随時
地区防災計画の見直し	●年間の防災活動を検証し、計画の見直しを行う。 (地区防災会総会に向けて、地区防災会としての総括と新年度実施計画を立てる。)	毎年4月
その他	自治会加入促進 行政への要望まとめ	随時

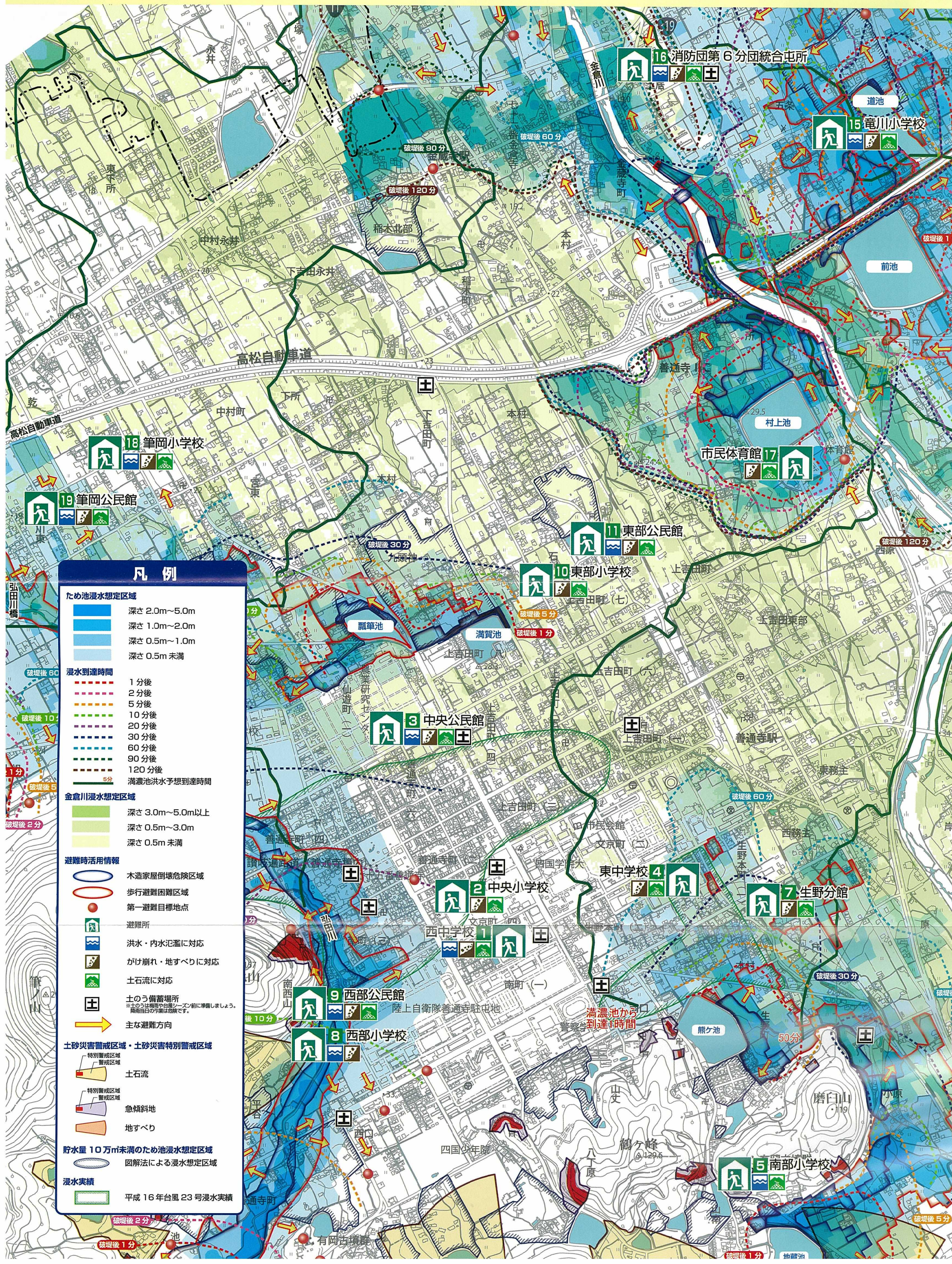
(4) 災害時における防災活動

活動名	担当	活動内容
事務局総括	公民館職員	会長、市防災管理課等関係機関と連絡調整を図る。
役員の招集 地区災害対策本部	会長 副会長 会計、理事 各班長 地区代表	「地震」：震度6弱以上の地震発生 「風水害洪水」：警戒レベル4（避難指示）以上の災害が見込まれる場合 ●会長は役員を招集し、地区災害対策本部・緊急役員会を立ち上げる。 ●組織全体の動きを把握し、災害対応に必要な人員の投入や活動調整を行う。
情報収集・伝達	会長 副会長 情報班 地区代表	●災害が発生、もしくは危険が予想される場合には、防災無線や広報車、消防との連絡、自治会連絡網を使用し、住民に対し避難の呼びかけを行う。 ●地区の被害状況を把握する。
安否確認	情報班 地区代表	●地区住民の安否確認を行う。
災害発生場所への 支援者の派遣	安全点検班 衛生救護班 消火班 土嚢班	●公助の到着までの緊急支援
災害時要配慮者の 支援	災害時 要援護者班	●要配慮者リストに基づき避難支援者に連絡を行い、災害時要配慮者の安否確認、避難の支援を行う。 ●自治会（班、組）と協力して行う。
避難所の設営	正・副会長 班別責任者 地区代表 集合者全員	●東部小学校、公民館に開設する。
避難所の運営	受付 情報班 避難誘導班 接待班 生活班 衛生救護班 非常食班 安全点検班 地区代表 集合者全員	●受付簿を設置、避難者の受け入れを準備する。 ●避難者への遵守事項の説明、場所への誘導 ●避難者の状況を取りまとめる。 ●備蓄品の解体、使用準備。 ●行政や住民が持ち寄った支援物資の受け入れ。 ●支援物資の支給 ●避難者に困りごとがないか声かけを行う。 ●防犯対策のための巡回

(5) 中長期的な活動予定

課題	内容	達成目標・時期
担い手の育成	●防災士取得の促進	早急に
地区防災マップの詳細作成	●市作成の「総合ハザードマップ」は、市全域をカバーし、各種災害を総合的にまとめている。 ●東部地区に特化し、東部の特性に合ったマップが欲しい。 ●地震編、風水害編、洪水編、ため池決壊編等災害別に分けた方が分かりやすいのではないかな。	1～2年のうちに 市防災管理課に相談、依頼
マイタイムラインの作成支援、普及	●住民又は世帯ごとに自ら考え、命を守るための行動を時系列に整理したもの。 ●災害発生の危険性が迫った時の家庭内での連絡行動の手順書の作成 ●避難袋の準備 ●家族の連絡体制 ●近所、自治会、民生委員、かかり付け医等への連絡の手順	先ず防災会員で作成 自治会員への普及
隣接地区・防災士会との協力/連携	●大規模災害が発生した場合、1地区だけでは対応しきれないことが想定される。隣接地区との協力、連携を図る。 ●隣接地区との合同防災訓練 ●防災士会中讃支部との連携	
防災シミュレーション	●HUG(避難所、運営、ゲーム) ●DIG(Disaster災害、Imagination想像力、Gameゲーム)	幅広い世代に繰り返し実施

東部地区ハザードマップ



4. 防災関係施設・資機材等リスト

(1) 避難所

類別	施設名	所在地	電話番号	備考
一次避難所	自治会集会場			
	寺社等			
指定避難所 緊急避難場所	東部小学校	稲木町 450-1	62-0703	
	東部公民館	稲木町 380-3	62-5684	
補充的避難所	JA 善通寺支店	上吉田町 6-12-1	64-0626	

(2) 関連機関・施設の連絡先

類別	施設名	所在地	電話番号	備考
市役所	防災管理課	文京町 2-1-1	63-6338	
消防本部		文京町 4-1-3	64-0119	
警察署	善通寺交番	稲木町 9-2	62-0110	
電気				
ガス				
水道				

(3) 保有防災資機材リスト(10、11、12頁)

防災倉庫1, 2, 3 (東部公民館) に保管の資機材リスト

東 部 地 区 自 主 防 災 会

譲 与 資 材 一 覧

No.1 倉庫

令和4年3月19日(土)

倉庫資材点検

型 式 ・ 資 材 品 目					
No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	作業服 LL×2・L×1・M×9		31	トランシーバー	3セット
2	ワンタックパンツ 79・88・100	12	32	救急セット(箱入り)	1式
3	ヘルメット	10	33	ボール 大	3
4	のこぎり (ガンマン)	3	34	ボール 小	5
5	工具セット	2	35	投光器	2
6	強力ライト	12	36	ソーラーシートチャージセット	2
7	コードリール (防雨)	7	37	打ち込み丸カン杭	10
8	スコップ (剣型)	13	38	ブルーシート	10
9	消火用バケツ	30	39	ブルーシート 3.6×5.4	3
10	つるはし (両ツル)	2	40	LEDスタンドライト投光器	3
11	標識ロープ (9mm×100M)	3	41	マスク 50枚×6箱	300
12	標識ロープ (12mm×100M)	3	42	チェンソー防護衣 黒M2	5
13	万能斧 460mm	2	43		
14	オイル 4L入り	1	44		
15	オイルさし	2	45		
16	軍 手	100双	46		
17	ハロゲン強力ライト (500W)	4	47		
18	土嚢袋	1式	48		
19	簡易タンカ	8枚	49		
20	一輪車 (平)	2	50		
21	// (深)	2	51		
22	両口ハンマー	3	52		
23	防塵メガネ	15	53		
24	オイルジャッキ	2	54		
25	ボルトクリッパー	2	55		
26	投光器 (180W)	4	56		
27	チェンソー	2	57		
28	皮手袋	32	58		
29	消火器	5	59		
30	ラジオ	1	60		

東 部 地 区 自 主 防 災 会

譲 与 資 材 一 覧

No.2 倉庫

令和4年3月19日(土)

倉庫資材点検

型 式 ・ 資 材 品 目					
No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	災害救助用毛布 10枚入	4	31		
2	折畳脚立(脚立)(中)	2	32		
3	折畳脚立(脚立)(大)	1	33		
4	組立てトイレ	1	34		
5	タンカ	3	35		
6	ラップポントイレ(フレーム付)	1	36		
7	ポータブルトイレ・テント付	3	37		
8	避難所用簡易間仕切り(ワンタッチ式)	3	38		
9	折りたたみ式避難マット(10枚入)	2	39		
10	発電機 (LPガス用)	3	40		
11	発電機 (カセットガス用)	5	41		
12	三角きん(特大) 25枚入	3	42		
13	救急箱(少人数用)	2	43		
14	災害用RO浄水機	1	44		
15	上記浄水機用フィルター	1	45		
16	打上げザル 大	2	46		
17	打上げザル 小	6	47		
18	防災訓練用名札	1式	48		
19	水分凝固剤 15個入	6	49		
20	防災訓練用名札	1式	50		
21	止水パネル(パネル土のう)	10	51		
22	トイレ用固める粉	1箱	52		
23	ハイブリッド型発電機(LP・ガソリン)	1	53		
24	防災訓練用メッシュキャップ	1箱	54		
25	防災訓練用メッシュベスト	1箱	55		
26	拡声器 ER-1000A BK	4	56		
27	拡声器 (メガホン)	2	57		
28			58		
29			59		
30			60		

東 部 地 区 自 主 防 災 会

譲 与 資 材 一 覧

No.3 倉庫

令和4年3月19日(土)

倉庫資材点検

型 式 ・ 資 材 品 目					
No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	スリムジャバコンパクト(3ケース)	50	31		
2	間仕切りスペース(14ケース)	50	32		
3	避難ルーム(2人用)	10	33		
4	フローリングベッド(8ケース)(2×7+1)	15	34		
5	ダンボールベッド	15	35		
6	便利トイレ(2ケース)	10	36		
7	避難マット(2ケース)	20	37		
8	便利テント(2ケース)	10	38		
9	セルフインフレーター(3ケース)	20	39		
10	アルミ製車椅子	4	40		
11	非常用広口給水袋(1ケース)	100	41		
12	非常用メガホン	2	42		
13	簡易仕切り(ダンボール製)	3	43		
14	プライベートテント(エンジ)	1	44		
15	避難テント(2人用)	3	45		
16	イージーアップテント	1	46		
17	貯水タンク	1	47		
18			48		
19			49		
20			50		
21			51		
22			52		
23			53		
24			54		
25			55		
26			56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

5. 地区防災タイムライン

■ 東部地区自主防災組織タイムライン (豪雨災害)

警戒 レベル	避難情報等		気象台	地区自主防災組織	住民
5	緊急安全 確保	災害切迫発生 (命の危険)	大雨 特別警報	命を守るための最善の行動をとる	
4	避難指示	災害おそれ (危険な場所か ら全員待避)	土砂災害 警戒情報	住民への避難呼びかけ 避難誘導開始	必ず避難
3	高齢者等 避難	災害おそれ (自主避難)	大雨洪水 警報	災害対策本部設置 被害避難状況の全体把握 災害時要配慮者の支援	高齢者・ 要配慮者 避難
2	大雨洪水 注意報	気象状況 悪化	大雨洪水 注意報	地区状況把握 役員への連絡体制確認	非常持ち出 し品確認
1	早期 注意情報	気象悪化 おそれ	早期 注意情報		

■ 東部地区自主防災組織タイムライン (地震災害)

	経過時間	一般的な出来事	防災組織	住民
初動対応	発災直後	地震発生、建物倒壊 出火、停電、断水	身の回りの安全確保 情報収集開始	身の回りの安全確保 火元確認、出火防止
	1時間まで	救命救急活動 火災拡大 二次災害の呼びかけ	災害対策本部設置 安否確認被害情報 地区見守り	一時避難所や避難 所へ参集
応急対応	6時間まで	被害の中心地や範囲 が判明	避難所開設準備 資機材の搬入設置	避難所へ移動
	1日まで	公助、自衛隊が到着	給水、給食活動 避難者の体調管理	
	3日まで	広域火災鎮火 ボランティア支援開始 生埋めなど生存低下	ボランティアとの連携 開始、在宅避難者の把 握と支援	
復旧期	2週間まで	行方不明者搜索完了 仮設住宅建設 水道やガスの復旧		
復興期	1ヶ月後	仮設住宅入居開始	災害対策本部解散	

※参考資料

避難者名簿

避難者グループ名

加入自治会の名称

(フリガナ) 世帯主氏名					住所	
入所年月日 年 月 日					電話	
家 族 この 方 全 員 記 入 し て く だ さ い	(フリガナ) 氏 名	年 齢	性 別	要配 慮者	支援区分 (避難所 人、在宅 人、その他 人)	
			男 女		☐ 避難所への入所を希望 ☐ 在宅のまま避難所サービスを希望 ☐ その他()	
			男 女		☐ 避難所への入所を希望 ☐ 在宅のまま避難所サービスを希望 ☐ その他()	
			男 女		☐ 避難所への入所を希望 ☐ 在宅のまま避難所サービスを希望 ☐ その他()	
			男 女		☐ 避難所への入所を希望 ☐ 在宅のまま避難所サービスを希望 ☐ その他()	
			男 女		☐ 避難所への入所を希望 ☐ 在宅のまま避難所サービスを希望 ☐ その他()	
家屋の被害状況		全壊・半壊・一部損壊・断水・停電・ガス停止・電話不通				
親族等の連絡先						
ご家族に、入れ歯や眼鏡等の不備、病気などの特別な配慮を必要とする方がいるなど、注意点があったらお書きください。						
特技や資格をお持ちの方は、氏名と特技の内容をお書きください。						
他から問い合わせがあったとき住所、氏名を公表してもよいですか？（よい・よくない）						
退所年月日		年 月 日				
転 出 先	住所(氏名)				登録日(入所日)	★
	連絡先				登録解除日(退所日)	★

◎この名簿は、入所時に世帯代表者が記入し、避難者管理班の名簿係にお渡しください。

◎★印の箇所は、名簿係が記入しますので避難者の方は記入しないでください。

「避難者の方へ」

- 入所にあたり、この名簿を記入し、行政担当者へ提出することで、避難者として登録され、避難所での生活支援が受けられるようになります。
 - 内容に変更がある場合は、速やかに名簿係に申し出て修正してください。
 - 他からの問い合わせに対し、住所と氏名を公表してよいか、お書きください。
 - 名簿の内容を公表することによって、ご親族の方々に安否を知らせるなどの効果があります。
- ただし、プライバシーの問題がありますので、公表の可否についてはご家族で判断してください。

健康状態チェックカード

当日の体調を記入し、事前受付で渡してください

氏名 _____

◆体調について

・発熱はありますか	はい・いいえ
・息苦しさがありますか	はい・いいえ
・味や匂いを感じられない状態ですか	はい・いいえ
・咳やたんがありますか	はい・いいえ
・全身倦怠感がありますか	はい・いいえ
・嘔吐や吐き気がありますか	はい・いいえ
・下痢が続いていますか	はい・いいえ

◆肺炎球菌ワクチンの接種について

・肺炎球菌のワクチンを接種していますか	はい・いいえ
---------------------	--------

【おわりに】

●災害は忘れた頃にやってくる

昭和南海地震で倒壊した鳥居（中村町永井） ↓



防災訓練・避難所設営（東部小学校） ↑